

2019年度通常総会について

2019年度通常総会は2019年4月25日に開催され、以下の議案がすべて原案通り承認されましたので、お知らせします。

第1号議案：「2018年度事業報告」の件

第2号議案：「2018年度決算報告および監査報告」の件

第3号議案：「2019-2020年度新役員承認」の件

報告1：2019年度事業計画

報告2：2019年度収支予算

(第1号議案)

2018年度事業報告

事業番号：公1（1本のみ）

事業の内容：オペレーションズ・リサーチの研究・普及啓発を行う事業

【研究発表会・シンポジウム等の開催】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究発表会・シンポジウム等を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 研究発表会

(1) 春季研究発表会

3月15日、16日、東海大学（高輪）にて開催

実行委員長：松井泰子（東海大学）

発表件数113件 参加407人

・特別テーマ「発想の転換で広がるOR」

・特別講演（一般公開）

1) 「発想の転換で不可能を可能に」

秋山 仁（東京理科大学 数理研究教育センター長）

2) 「多様化するリスクに対応する安全・安心サービス」

青山幸恭（総合警備保障（株） 代表取締役社長）

(2) 秋季研究発表会

9月6日、7日、名古屋市立大学（滝子）にて開催

実行委員長：田地宏一（名古屋大学）

発表件数123件 参加323人

・特別テーマ「スマートモビリティ社会とOR」

・特別講演（一般公開）

1) 「モビリティイノベーションと社会応用—Society5.0実現に向け」

高原 勇（筑波大学未来社会工学開発研究センター長/トヨタ自動車（株）BR-未来社会工学室長）

2) 「自然言語処理とその応用—医療からスマートモビリティまで」

武田浩一（名古屋大学大学院情報学研究科 価値創造研究センター長）

2. シンポジウム

(1) 春季シンポジウム

3月14日、東海大学（高輪）にて開催

実行委員長：朝日弓未（東海大学）

テーマ「データサイエンスの現在（いま）」 講演5件 参加者156人

(2) 秋季シンポジウム

9月5日、名古屋市立大学（桜山）にて開催

実行委員長：茨木 智（名古屋市立大学）

テーマ「データ主導経済におけるORの貢献」 講演5件 参加者75人

3. ORセミナー

(1) 第1回「Python言語によるビジネスアナリティクス」

・7月28日、(株)構造計画研究所にて開催

・コーディネーター：斎藤 努（(株)ピープラウド）

・司会：東京海洋大学 久保幹雄

・講師：斎藤 努（(株)ピープラウド）、並木 誠（東邦大学）、久保幹雄（東京海洋大学）、小林和博（東京理科大学）

・参加者42名

(2) 第2回「量子コンピュータ：次世代アーキテクチャの活用」

・11月9日、(株)NTTデータ豊洲センタービルにて開催

・コーディネーター：中川慶一郎（(株)NTTデータ）

・司会：(株)NTTデータ 矢実貴志

・講師：藤井啓祐（(一社)Quantum Research Institute）、小野寺民也（日本IBM（株））、山岡雅直（(株)日立製作所）、大輪拓也（(株)富士通研究所）

・参加者51名

(3) 第3回「因子分析とその発展—無形概念の測定から概念間の関係性分析まで—」

・1月12日、筑波大学東京キャンパス文京校舎にて開催

・コーディネーター：黒木裕介（ヤマト運輸（株））

・講師：椿 広計（(独法)統計センター）、小島隆矢（早稲田大学）

・参加者68名

4. 企業事例交流会

(1) 春季企業事例交流会（第41回）を春季研究発表会にて開催

(2) 秋季企業事例交流会（第42回）を秋季研究発表会にて開催

5. 新宿OR研究会

昭和55年創設以来、年間10回の例会を開催してきて、2019年2月例会が通算第385回をもって、40年間にわたる活動を終了した。テーマはOR関係の最近の動向に留まらず会員推薦の各界の話題など極めて広範、かつ時宜に適ったもので、メンバーの啓発、懇親を行ってきた。会誌・ホームページ・メールマガジンに開催案内を掲載し、会員の幅広い参加を呼びかけてきた。最後の現世話人は第1回から参加している川中子敬至（足利工業大学）であった。

【機関誌、論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、機関誌・論文誌の刊行及びインターネット等を利用した情報提供活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 機関誌

機関誌「オペレーションズ・リサーチ」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2018年3月1日	63	3	2,400部
2018年4月1日	63	4	2,400部
2018年5月1日	63	5	2,400部
2018年6月1日	63	6	2,400部
2018年7月1日	63	7	2,400部
2018年8月1日	63	8	2,400部
2018年9月1日	63	9	2,400部
2018年10月1日	63	10	2,400部
2018年11月1日	63	11	2,400部
2018年12月1日	63	12	2,400部
2019年1月1日	64	1	2,400部
2019年2月1日	64	2	2,400部

2. 論文誌

論文誌（Journal of the Operations Research Society of Japan: JORSJ）、和文論文誌（Transactions of the Operations Research Society of Japan: TORSJ）を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
2018年4月	61	2	75部
2018年7月	61	3	75部
2018年10月	61	4	75部
2018年12月（TORSJ）	61		50部
2019年1月	62	1	75部

なお、論文誌はインターネット上で無料公開しており、発行部数は紙媒体での部数のみを示している。

【研究部会による調査研究とその公表活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、研究部会による調査研究とその公表活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。調査研究にあたっては、専門の研究部会を組成し、主査・幹事が中心となり研究希望者を公募して行っている。

	常設部会	主査、幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内 容	場 所
1	待ち行列	笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学) フンドック トゥアン (筑波大学)	28名	8回 (1回)	計8回の部会を開催し、発表内容は、待ち行列、情報通信ネットワーク、生産システムなど多岐にわたっている。このうち1回は4部会（「確率モデルとその応用」、「システム信頼性」、「待ち行列」、「不確実性環境下の意思決定モデリング」）の合同で実施された。また、2019年1月23～25日に「2018年度待ち行列シンポジウム」を開催した。	東京工業大学

2	数理計画 (RAMP)	土谷 隆 (政策研究大学院 大学) 北原知就 (東京工業大学)	33名	1回	10月10, 11日に広島国際会議場においてシンポジウムを開催した。テーマは「暗号理論と数理最適化」, 「金融工学とコーポレートファイナンス」, 「確率的情報処理と情報統計力学の最前線」, 「離散最適化の理論とアルゴリズム」である。この他に、2件の特別講演を設け、海外からの講演者を招いた。このように、国内外の様々な分野の第一線でご活躍の先生方にご講演いただいた。	広島国際会議場
3	評価のOR	後藤美香 (東京工業大学) 伊豆永洋一 (筑波大学)	10名	5回	定例研究会では毎回2名の講演者を招き、DEAやその他評価に関連した分析手法や応用について講演を行った。学生発表会を企画し7件の発表に学生奨励賞を授与した。延参加者58名。	東京
4	意思決定法	水野隆文 (名城大学) 飯田洋市 (公立諏訪東京理 科大学)	15名	5回	意思決定手法(AHPその他)の理論研究や事例研究について、5回の研究会開催を通じて、研究発表や議論、直接的な情報交換の場を提供し、政策評価やマネジメントへの実用性を高めることにつとめた。延参加者数46名。	名城大学, 東京理科大学, 日本大学, 大阪商業大学
5	サプライ チェーン戦略	竹田 賢 (青山学院大学) 草刈君子	延参加者 170名 平均 43名	4回	サプライチェーンにおける経営戦略, 運用戦略, 戦略プロセスに対しOR手法の現実適用について事例と理論の両面から研究する。参加者170名(平均43名)である。活動内容はscsr.jpにて一般公開している。	青山学院大学

	研究部会	主査, 幹事	メンバー	開催 (うち合同)	内 容	場 所
1	離散アルゴリズムの応用と理論	牧野和久 (京都大学) 井出陽子 (三菱重工業(株)) 澄田範奈 (首都大学東京)	14名	4回 (1回)	真に実用的なアルゴリズムの開発, またそれらを支える基礎理論を構築することをテーマに講師を招聘して4回の研究会を開催した(内1回は3日間の夏学校)。講演は8件, 延参加者は約160名。	京都大学, 理化学研究所
2	ORによる大規模インフラストラクチャー分析	三浦英俊 (南山大学) 渡部大輔 (東京海洋大学)	20名	11回	地域の持続可能的発展を支えるインフラストラクチャーの要件, OR技法を用いた大規模インフラストラクチャーの計画, インフラストラクチャーにおける危機管理等の諸問題をORの視点から取り組んだ。延参加者121名。	日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団会議室

3	確率モデルとその応用	堀口正之 (神奈川大学) 來嶋愛子 (上智大学) 吉良知文 (群馬大学／九州大学IMI)	14名	6回 (1回)	多くの方のご支援ご協力により合同開催も含め6回の部会開催ができました。最適停止問題やマルコフ決定モデル、リスクモデル解析や不動点定理などのトピックについて研究交流も一層深まりました。	上智大学、神奈川大学
4	不確実性環境下の意思決定モデリング	北條仁志 (大阪府立大学) 中西真悟 (大阪工業大学)	15名	5回 (2回)	不確実性環境下での意思決定を行うための数理的アプローチとして、特に待ち行列、信頼性、生産、在庫、ゲーム理論、ファイナンス等の研究動向に関する講演を中心とした情報交換を行った。延参加者120名。	JEC日本研修センター十三サムティフェイム新大阪
5	エネルギーミックスの諸問題とOR	中川慶一郎 (株)NTTデータ) 宇田川佑介 (株)構造計画研究所)	15名	6回	エネルギー、電力システムを対象にORを活用している研究者、企業に研究成果、導入事例などを報告頂いた。また電気工学に関する研究発表を頂くなどORと別の最先端技術の知見を融合することも目指し活動している。	(株)構造計画研究所
6	オリンピック、パラリンピックとOR	鳥海重喜 (中央大学) 田中健一 (慶應義塾大学)	12名	5回	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催時の輸送・交通や渋滞緩和に関して、都市のORの数値モデルを適用することを幅広く議論し、研究を遂行した。一部の成果はマスメディアを通じて、一般に周知された。	筑波大学、東京海洋大学、慶應義塾大学、防衛大学校、東京大学
7	システム信頼性	木村光宏 (法政大学) 田村信幸 (法政大学)	8名	5回 (1回)	信頼性及び保全性に関する理論の更なる発展と応用分野の拡大を目指し、5回の講演会・研究発表会を開催した。部会メンバーや他学会の協力で著名な研究者を海外から迎え、研究者間での交流を深めることができた。	日本科学技術連盟、他
8	データサイエンスとマーケティング分析	鈴木秀男 (慶應義塾大学) 朝日弓未 (東海大学) 横山 暁 (青山学院大学)	12名	5回	テレビ／ネットの接触/状況等のデータを提供した「データ解析コンペティション」を開催した。18チームのエントリー、延べ約200人の参加者を得た。TV視聴者属性と行動分析、広告効果等の発表と得られた知見、分析アプローチについて議論した。	慶應義塾大学、青山学院大学、東海大学
9	危機管理と防衛のOR	宝崎隆祐 (防衛大学校) 片山隆仁 (防衛技術協会)	20名	9回	AI、シミュレーション技法、橋梁やGIS等に関連する都市のOR、地方自治体の危機管理体制、災害医療、水資源等のインフラ問題、日本に地政学的問題、及び市場と顧客といった、幅広い観点から、日本や地方自治体、その他の組織における危機管理の問題を取り扱った。延参加者数約200名。	政策研究大学院大学

10	最適化とその 応用	高松瑞代 (中央大学) 田中未来 (統計数理研究所)	10名	6回	定例研究会を5回開催し、9件の講演に 延べ148名が参加した。また、未来を担 う若手研究者の集いを開催し、一般講 演35件、特別講演1件、参加者149名 を集め、一般講演のうち10件を表彰し た。	中央大学、筑 波大学、理化学研究所、南 山大学
11	食とその周辺	大角盛広 (神戸学院大学) 宇野剛史 (徳島大学)	11名	5回 (2回)	農業問題へのORへの適用を考えた農業 系の研究部会を引き継ぎ、より広く、食 のサプライチェーン、学校給食セン ターなど食に関する施設配置、アグリビ ジネス、ヘルスケア、外食産業なども対 象としてトータルに食の問題を考える。	徳島大学

	研究グループ	主査、幹事	メンバー	開催	内 容	場所
1	地域課題解決 のOR	鈴木 勉 (筑波大学) 石井儀光 (国土技術政策総 合研究所)	50名	3回	OR手法を通して都市や地域の現象に関 する諸問題に取り組んでいる研究者や 学生を対象とする発表や議論の場とし て、セミナー・ワークショップを3回開 催した。延べ発表数66件、延べ参加者 数173名であった。	筑波大学、南 山大学、慶應 義塾大学
2	数理的発想と その実践	杉原一臣 (福井工業大学環 境情報学部) 春名 亮 (金沢学院大学基 礎教育機構)	7名	2回	オペレーションズ・リサーチの根底にあ る「数理的アイデア」をキーワードとし て、北陸地区において2回の研究集会を 開催し、計4件の研究報告があった。周 辺領域に関する講演も多数あり、分野 の垣根を越えた活発な意見交換が行わ れた。延参加者17名。	福井工業大学、 金沢学院大学

【表彰活動】

□事業の趣旨・内容

本事業は、表彰活動を通じて、オペレーションズ・リサーチの研究および応用を促進し、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

1. 春季表彰

- (1) 第19回業績賞
 - ・矢部 博 (東京理科大学)
- (2) 第43回普及賞
 - ・木村 俊一 (関西大学)
 - ・斎藤 努 (株式会社ビープラウド)
- (3) 第42回実施賞
 - ・株式会社日立製作所
 - ・株式会社NTTデータ数理システム

2. 秋季表彰

- (1) 第8回研究賞奨励賞
 - ・高松瑞代 (中央大学)
- (2) 第38回事例研究賞
 - ・赤堀 峻 (株式会社日立製作所)、関口陽介 (シスメックス株式会社)、田村明久 (慶應義塾大学)

- (3) 60周年記念論文賞
 - ・平井広志 (東京大学)
 - ・塩浦昭義 (東京工業大学)
- (4) 第36回学生論文賞
 - ・大城泰平 (修論 東京大学)
 - ・君塚柁貴 (修論 東京工業大学)
 - ・黒木祐子 (修論 東京工業大学)
 - ・佐藤良亮 (修論 東京大学)
 - ・成島大悟 (修論 筑波大学)
 - ・堀 篤史 (修論 南山大学)

【海外研究助成事業】

□事業の趣旨・内容

本事業は、若手オペレーションズ・リサーチ研究者に対する海外研究助成により、海外の研究機関とのオペレーションズ・リサーチの研究および応用に関する連携を一段と進化及び拡大させ、オペレーションズ・リサーチの進歩と発達を通じて、文化と産業の発展に寄与することを目的とする。

2018年度は助成候補者の公募及び選考を実施したが、助成該当者は無し。

【支部活動】

1. 北海道支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2018/4/18	北海道大学	2017年度事業報告、決算、2018年度事業計画、予算、役員
支部共催イベント	2018/7/13	北海道大学	AIのMIRAI、俳句の未来—俳句対局in北海道大学—

2. 東北支部

活動	年月日	場所	内 容
総会	2018/3/20	東北大学	2017年度事業報告、2017年度決算、2018年度事業計画、東北支部役員についてなど
講演会	2018/3/20	東北大学	山中克久氏 (岩手大学) トークン整列問題～あみだくじをグラフへ一般化～
セミナー	2018/12/1～2	飯坂温泉湯野市民センター	東北ORセミナー若手研究交流会 東北地方を中心とした若手研究者の育成と学生会員数の増加を図るための研究発表会。1泊2日の合宿形式で、主として学生に研究発表と人的交流の場を提供し、個々の大学や研究室を超えた地域全体での若手研究者育成、および研究者同士の共同研究も視野に入れて東北地方の包括的な研究活性化を目的としている。今年度は、2018年12月1日(土)、2日(日)に飯坂温泉湯野市民センター(福島県飯坂町)で開催した。45名(うち学生34名)の参加者を集めて、盛況のうちに無事終了することができた。詳細は下記サイト参照。 http://www.akita-pu.ac.jp/system/mse/mis/inakawa/public/tors/seminar2018/program.html
研究会	2018/6/28	東北大学	井上 亮氏 (東北大学大学院情報科学研究科) 不動産価格形成の実態把握に向けて—空間統計手法と機械学習手法によるアプローチ—
会議	2018/7～11	メール	東北ORセミナー若手研究交流会実行委員会

3. 中部支部

活動	年月日	場所	内 容
総会 運営委員会 幹事会	2018/3/3	愛知県立大学	2017年度事業・決算報告, 2018年度事業計画・予算・役員選出, 審議・承認
第45回中部支部 研究発表会	2018/3/3	愛知県立大学	研究発表9件, 参加者48名
特別講演 幹事会	2018/3/3 2018/6/16	愛知県立大学 名古屋市立大学	「秘書問題をおいかけて」玉置光司(愛知大学) 年度計画の確認, 2018年度SSORの準備について, 2018年度秋のシンポジウム・大会について, 2019年度支部シンポジウムについて
支部講演会	2018/6/16	名古屋市立大学	①「最適点検・取替方策に関する拡張モデル紹介」水谷聡志(愛知工業大学), ②「資金循環問題」小野廣隆(名古屋大学), 参加者24名
SSOR2018	2018/8/30~ 31	サンパーク犬山	招待講演①「ピラミッドの最適計測プランの作成」檀寛成(関西大学), 招待講演②「医療福祉とエネルギー分野における数理最適化と政策影響分析」伊藤真理(東京理科大学), 学生研究発表20件, 参加者33名(宿泊者25名)
幹事会	2018/9/1	名古屋市立大学	2018年度SSOR報告, 秋季全国大会の打ち合わせ, 来年度の支部事業について
C3POセミナー	2018/9/8	愛知工業大学	①「プロジェクトマッピングの製作状況と今後の可能性」杉森順子(桜美林大学), ②「RoboCupとAI研究」伊藤暢浩(愛知工業大学), 参加者20名
幹事会	2019/1/20	名古屋市立大学	2019年度事業計画について, 役員選出について, 第46回中部支部研究発表会計画について
支部講演会	2019/1/20	名古屋市立大学	①「言語・グラフネットワーク・最適化~人工知能(AI)の基礎として~」増山繁(豊橋技術科学大学), ②「RoboCupとAI研究」小鷹研理(愛知工業大学), 参加者20名

4. 関西支部

活動	年月日	場所	内 容
記念講演会	2018/3/10	中央電気倶楽部	「ORの競う・極める・選び出すー仲間と拓く第二章ー」増山博之(京都大学)参加者:20名
第1回支部総会	2018/3/10	中央電気倶楽部	2017年度事業報告・決算および2018年度事業計画・予算などが承認された。出席者:20名, 委任状:55通
関西支部 SSOR2018	2018/11/2~ 4	関西大学飛鳥文化 研究所	特別講演:河瀬康志(東京工業大学), 林 俊介(東北大学) 参加者:49名, 口頭発表:26件, ポスター発表:8件 優秀発表賞:4件
支部シンポジウム	2018/11/17	中央電気倶楽部	テーマ「ビッグデータ研究とは何か」 [1]「楽天におけるビックデータを対象とした機械学習・深層学習の活用事例」平手勇宇(楽天技術研究所) [2]「生活者の実行動から新たなマーケティングの成功モデルを創造する~ソーシャルメディアが生み出すビックデータを実ビジネスに活かすための3つのポイント~」江頭瑠威(電通) [3]「確率的潜在変数モデルに基づくデータマイニング」岩田具治(NTTコミュニケーション科学基礎研究所) [4]「見過ごされてきた現場の問題ー真に有益なクラスタリングを目指してー」宇野毅明(国立情報学研究所) [5]「ビッグデータにおける学術と研究の動向と方向」徳山 豪(東北大学) 参加者:47名

支部講演会	2018/12/14	大阪大学	<p>[1] 「ug [SCIP,*]: 混合整数計画ソルバ技術を利用した並列分枝限定法ソルバ開発用ライブラリーシュタイナー木ソルバSCIP-Jackを例として」 品野勇治 (Zuze Institute Berlin)</p> <p>[2] 「混合整数線形モデルによるエネルギーシステムの最適化—最適化のエネルギー分野への適用—」 横山良平 (大阪府立大学)</p> <p>[3] 「Computational complexity of shape constrained estimation」 Andrew L. Johnson (Texas A&M University)</p> <p>参加者: 23名</p>
関西支部編集担当	2018/5/1		オペレーションズ・リサーチ機関誌 vol. 63 no. 5 特集 「表彰とOR」

5. 中国・四国支部

活動	年月日	場所	内容
支部総会	2018/3/24	県立広島大学	平成29年度支部活動・決算の報告, 平成30年度支部役員・活動計画・予算の承認
SSOR	2018/9/13~ 14	白兔会館	中国・四国支部では、若手研究者の育成のために様々な取り組みを行っている中、その活動の一環として、若手の研究発表を中心とした研究発表会を開催した。宿泊形式とすることで、多くの意見交換が為されるとともに、親睦を深めることができた (参加者: 24名)。
支部シンポジウム	2018/11/17	県立広島大学	OR学会員のみならずORに興味を持つ他分野の研究者にとっても大変魅力的となる異種分野統合を念頭に置いた研究活動の活性化に繋げることを目的として、オペレーションズ・リサーチ関連の深いテーマのみならず、電力システムに関するテーマを広く取り上げたシンポジウムを開催した (参加者: 15名)。
支部研究部会	2018/7/19 2018/12/1 2018/12/1	鳥取大学 鳥取大学 関西大学	部会名「確率モデルと品質マネジメント」 主催講演会: 2件 (7/19・12/1開催分) (講師2名) 共催講演会: 1件
支部研究部会	2018/6/9 2018/12/8	広島工業大学 広島工業大学	部会名「SCM&サービス工学」 共催講演会: 2件 (講師3名)
支部研究部会	2018/11/23 2018/12/11 2019/2/13	徳島大学 徳島大学 徳島大学	部会名「ORと数学」 共催講演会: 3件 (講師5名)
講演会	2018/3/24 2018/3/30 2018/6/22 2018/12/22	県立広島大学 広島大学 広島大学 県立広島大学	講師: 山田 茂 (鳥取大学) 講師: 関崎真也 (広島大学) 講師: 長沢敬祐 (広島大学) 講師: Won Young Yun (Pusan National University) 講師: 木島正明 (広島大学)
			その他、協賛事業2件

6. 九州支部

活動	年月日	場所	内容
総会	2018/3/29	九州大学 西新プラザ	2017年度活動報告, 2018年度活動計画, 14名参加
講演会	2018/3/29	九州大学 西新プラザ	廣瀬英雄様 (広島工業大学) 「オンラインテストティングとラーニングアナリティクス」 14名参加

講演会	2018/7/7	九州工業大学 サテライト 福岡天神	青木俊介様（九州工業大学大学院情報工学研究院） 「計算科学と有用化合物探索」 8名参加
研究会	2018/7/7	九州工業大学 サテライト 福岡天神	北原知就様（九州大学大学院経済学研究院） 「線形計画問題に対するアルゴリズムをめぐる最近の話題について」 8名参加
支部事業 (交流会)	2018/10/27～ 28	日本文理大学 湯布院研修所	1泊2日合宿形式の九州地区における若手研究者中心の交流会，11件の研究発表，19名参加
講演会	2018/10/27	日本文理大学 湯布院研修所	山城興介様*（日本文理大学），岩見昌邦様（福岡大学），斎藤参郎様（福岡大学）「複合商業施設入館者数の日次時系列データを使ったイベントとの関係性の抽出について」 19名参加
講演会	2018/12/15	北九州市立大学	久多里桐子様（北九州市立大学経済学部） 「株主提案に対する賛成率と株式所有構造の関係」 7名参加
研究会	2018/12/15	北九州市立大学	松島大輔（長崎大学グローバル連携機構教授） 「越境型イノベーションに対するOR手法を活用した支援とその評価について」 7名参加

【会議】

1. 通常総会

2018年4月27日（株）日立製作所（秋葉原）

- | | |
|--------------------------|----|
| 1. 2017年度事業報告の件 | 承認 |
| 2. 2017年度収支計算報告および監査報告の件 | 〃 |
| 3. 2018年度-2019年度役員承認の件 | 〃 |

2. 理事会 (略)

【役員】

理事 (非常勤)

定数：12人から18人 (現在：18人)

任期：2年

監事 (非常勤)

定数：2人 (現在：2人)

任期：2年

【職員】 (略)

【会員状況】

1. 2018年度通算 (2018/03/01 ~ 2019/2/28)

	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員A	賛助会員B	合計
2018.3.1	13	1600	245	33 (41)	17 (17)	1908
入 会		46	103	5 (7)	3 (3)	157
退 会	▲ 1	▲ 86	▲ 75	▲ 2 (2)	▲ 1 (1)	▲ 165
資格喪失		▲ 16				▲ 16
移 動	学→正	20	▲ 20			
	正→学		▲ 2	2		
	正→名	1	▲ 1			
今期間増減	0	▲ 39	10	3 (5)	2 (2)	▲ 24
2019.2.28現在	13	1561	255	36 (46)	19 (19)	1884

() 内は口数

2. 支部別会員数

支部	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員A	賛助会員B	合計
北海道		46	2			48
東 北	1	44	17			62
中 部		145	26	1	1	173
関 西	2	221	22	4		249
中国・四国		76	3	1		80
九 州		73	12			85
本 部	10	956	173	30	18	1187
2019.2.28現在	13	1561	255	36 (46)	19 (19)	1884

貸借対照表

平成31年2月28日現在

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	36,823,203	27,836,286	8,986,917
未収会費	1,250,400	662,400	588,000
未収金	750,469	1,124,355	△ 373,886
前払金	256,607	256,607	0
前払費用	46,500	18,450	28,050
仮払金	1,000,000	500,000	500,000
流動資産合計	40,127,179	30,398,098	9,729,081
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	400,605	1,524,000	△ 1,123,395
名簿作成準備積立金資産	500,000	500,000	0
国際協力積立金資産	15,000,000	15,000,000	0
表彰事業積立金資産	7,000,000	7,000,000	0
O A化積立金資産	8,380,000	8,380,000	0
O R事典積立金資産	4,000,000	4,000,000	0
近藤賞基金引当資産	9,000,000	9,000,000	0
公益事業充当資産	20,000,000	20,000,000	0
創立60周年記念事業準備資産	0	11,385,507	△ 11,385,507
若手OR研究者育成基金	9,100,210	9,100,210	0
助成事業積立資産	5,000,000	5,000,000	0
リース資産	939,468	843,084	96,384
特定資産合計	79,320,283	91,732,801	△ 12,412,518
(2) その他固定資産			
保証金	950,400	950,400	0
その他固定資産合計	950,400	950,400	0
固定資産合計	80,270,683	92,683,201	△ 12,412,518
資産合計	120,397,862	123,081,299	△ 2,683,437
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	132,359	4,296	128,063
未払費用	177,494	408,384	△ 230,890
前受金	1,782,510	1,408,000	374,510
前受会費	19,497,000	19,393,000	104,000
預り金	170,817	67,064	103,753
未払消費税等	315,800	0	315,800
流動負債合計	22,075,980	21,280,744	795,236
2. 固定負債			
退職給付引当金	400,605	1,524,000	△ 1,123,395
リース債務	1,623,672	1,623,600	72
固定負債合計	2,024,277	3,147,600	△ 1,123,323
負債合計	24,100,257	24,428,344	△ 328,087
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	(73,919,678)	(85,208,801)	(△ 11,289,123)
正味財産合計	96,297,605	98,652,955	△ 2,355,350
負債及び正味財産合計	120,397,862	123,081,299	△ 2,683,437

正味財産増減計算書

平成30年3月1日から平成31年2月28日まで

公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	10,467	8,695	1,772
受取利息	10,467	8,695	1,772
受取入金	108,900	111,200	△ 2,300
受取正会員入金収入	69,300	53,400	15,900
受取学生会員入金収入	39,600	57,800	△ 18,200
受取会費	28,232,200	27,522,643	709,557
正会員受取会費収入	22,687,200	22,926,243	△ 239,043
学生会員受取会費収入	25,000	62,000	△ 37,000
賛助会員受取会費収入	5,520,000	4,534,400	985,600
事業収益	18,424,012	16,148,239	2,275,773
受取販売収益	2,083,437	2,724,487	△ 641,050
受取研究発表参加収入	3,637,000	3,899,000	△ 262,000
受取参加料	6,065,300	3,749,000	2,316,300
受取広告料	4,881,700	4,435,880	445,820
受取受託料	1,500,000	1,100,000	400,000
受取掲載料	76,000	28,000	48,000
受取著作権料	175,575	211,872	△ 36,297
受取会誌料	5,000	0	5,000
受取補助金等	205,000	425,000	△ 220,000
雑収益	71,648	12,729	58,919
受取利息	256	206	50
雑収益	71,392	12,523	58,869
経常収益計	47,052,227	44,228,506	2,823,721
(2) 経常費用			
事業費	45,336,363	48,804,172	△ 3,467,809
給与手当	6,373,713	3,394,931	2,978,782
賞与	2,109,541	1,206,346	903,195
臨時雇賃金	2,087,971	3,301,082	△ 1,213,111
法定福利費	394,254	60,471	333,783
福利厚生費	61,886	9,000	52,886
旅費交通費	1,562,264	2,819,743	△ 1,257,479
通信運搬費	2,951,798	2,614,811	336,987
退職給付費用	50,045	182,880	△ 132,835
消耗品費	639,320	1,657,724	△ 1,018,404
会議費	7,237,028	7,285,419	△ 48,391
印刷製本費	10,464,886	8,881,943	1,582,943
広告宣伝費	453,600	0	453,600
賃借料	2,940,254	2,893,836	46,418
保険料	3,420	27,720	△ 24,300
租税公課	316,400	433,100	△ 116,700
支払補助金	10,000	0	10,000
諸謝金	4,743,741	8,102,058	△ 3,358,317
委託費	2,157,909	4,986,396	△ 2,828,487
支払手数料	417,576	337,348	80,228
減価償却費	204,920	240,960	△ 36,040
貸倒損失	63,360	115,200	△ 51,840
雑費	92,477	253,204	△ 160,727
管理費	4,001,914	5,248,709	△ 1,246,795
給与手当	708,187	377,208	330,979
賞与	234,393	134,038	100,355
臨時雇賃金	130,790	289,486	△ 158,696
法定福利費	43,803	6,719	37,084
福利厚生費	6,876	1,000	5,876
旅費交通費	475,181	499,128	△ 23,947
通信運搬費	42,463	53,762	△ 11,299
退職給付費用	5,560	20,320	△ 14,760
消耗品費	31,638	20,374	11,264
会議費	388,604	323,267	65,337
印刷製本費	93,305	1,281,133	△ 1,187,828
広告宣伝費	3,240	3,240	0
賃借料	321,528	321,528	0
保険料	380	3,080	△ 2,700
租税公課	4,765	800	3,965
水道光熱費	212,600	223,569	△ 10,969
委託費	122,088	368,928	△ 246,840
支払手数料	32,678	35,474	△ 2,796
支払報酬料	547,560	622,709	△ 75,149
諸会費	443,777	426,157	17,620
減価償却費	22,768	26,773	△ 4,005
貸倒損失	95,040	172,800	△ 77,760
雑費	34,690	37,216	△ 2,526
経常費用計	49,338,277	54,052,881	△ 4,714,604
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,286,050	△ 9,824,375	7,538,325
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,286,050	△ 9,824,375	7,538,325
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
リース資産除却損	69,300	499,162	△ 429,862
経常外費用計	69,300	499,162	△ 429,862
当期経常外増減額	△ 69,300	△ 499,162	429,862
当期一般正味財産増減額	△ 2,355,350	△ 10,323,537	7,968,187
一般正味財産期首残高	93,652,955	103,976,492	△ 10,323,537
一般正味財産期末残高	91,297,605	93,652,955	△ 2,355,350
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III 正味財産期末残高	96,297,605	98,652,955	△ 2,355,350

2019-2020年度役員候補者の件

会務	定数	改選数	非改選役員	新役員
会長	1	0	齊藤 裕 (ファナック (株))	
副会長	3	2	木村俊一 (関西大学)	松井知己 (東京工業大学) 河東晴子 (三菱電機 (株))
庶務理事	2	1	鳴谷あゆみ (東京ガス (株))	渡部大輔 (東京海洋大学)
国際理事	1	1		矢野浩仁 ((株) 日立製作所)
研究普及理事	2	1	松本和宏 ((株) 富士通研究所)	三好直人 (東京工業大学)
編集理事	2	1	村松正和 (電気通信大学)	繁野麻衣子 (筑波大学)
会計理事	1	0	堀田敬介 (文教大学)	
渉外理事	1	0	椎名孝之 (早稲田大学)	
広報理事	1	0	藤本 衡 (東京電機大学)	
支部理事	1	1		森田 浩 (大阪大学)
無任所理事	2	1	Zhan Ping (江戸川大学)	
大会理事	1	0	土肥 正 (広島大学)	加地太一 (小樽商科大学)
監 事	2	1	大城直人 ((株) 日経金融工学研究所)	渡辺隆裕 (首都大学東京)